



十日町 Tokamachi

市議会だより

市民と議会の
ネットワーク

平成22年7月25日発行

■発行 十日町市議会 十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp TEL.025-757-3119 (直通)

■編集 議会だより編集委員会

No.23

◆一般質問14人 — 行政改革、地域・人づくり —

◆会派通信⑤ — 妻有クラブ —



全国から80人が出場し唄声を披露しました。(前列左から 60歳以上の部・60歳未満の部〈総合優勝〉・少年少女の部優勝の皆さん)

Contents

今号の内容

- ▶ 一般質問 2～6
- ▶ 会派通信／議会日誌 7
- ▶ 永年勤続表彰 7
- ▶ 補正予算・主な事業 8
- ▶ 議決結果 9
- ▶ 常任委員会審査結果 9
- ▶ 議会レポート 10



マクロビリセット&バランシングツアー in 十日町
よもぎひら
松代地区(蓬平)有機栽培田での草とり作業

こがたし 知りた



6月11日、6月定例会が招集され、6月18日までの8日間にわたり開催されました。

物品購入契約の締結、市道の廃止と認定、土地改良事業の施行、工事請負契約の変更、各種条例の制定及び一部改正、平成22年度一般会計と、6つの特別会計及び水道事業会計の補正予算が提案、審議されました。

一般質問では14人の議員から市政についての質問がありました。
(一般質問については、紙面の都合上要旨を掲載しています。)

協働のまちづくり・
地域包括支援センター

羽鳥輝子 議員

質問1 住民と行政による協働のまちづくりへの支援体制について伺います。①現状、あり方、進め方、理解、市民参画、市民活動の実態や意向の把握②仕組みづくりの推進③人材育成④支援組織

答弁1 ①平成20年度から取り組み、市民活動団体のヒアリングに始まり、協働のまちづくり推進指針の策定、21年度からは



みんなの芸術祭・地域おもてなし事業

モデル事業へと進み、相互理解や市民の皆さんの参加につなが

つてきていると考えています。
特にモデル事業には、多くの市民の皆さんに参加いただいております。新たな動きも生まれてきています。②協働のまちづくりフォーラムなどを通して、進め方や仕組み作り、意識の持ち方などへの理解を深めていただいています。③様々な活動を通じて、市民活動を実践しており、特に若い皆さんが育ってきていると感じています。④実際に活動されている皆さんとともに支援のあり方を検討し、機運が高まりましたら、拠点的な組織の立ち上げも考えていきたいと思っています。

質問2 地域包括支援センターについて、相談件数が増える一方で、相談内容の深刻化や困難ケースも多くなり、時間のかかるケースが激増しています。今後の対応について伺います。

答弁2 市や市以外の行政機関各部署との連携した相互協力や役割分担をお願いし、地域包括支援センターとの協力体制をより強固にするため、今後とも力を入れていく必要があり、事業を通じて、どのような支援やお手伝いができるのか、今後ともさらに検討をしてみたいと考えています。

十日町市農村環境計画
について

太田祐子 議員

質問1 この計画は、将来を担う中学生へのアンケート結果や全市を網羅した地形、自然、動植物、地域催事等が掲載されており素晴らしい内容であり、この計画をあらゆる施策に活用し、共有していくことは不可欠です。①具体的な活用策、②浸透策、③庁舎内の連携体制や市民団体等との関与について伺います。

答弁1 ①本計画に基づいた事業計画を策定し、環境配慮、環境保全への積極的な取り組みを推進していきたいと考えています。②事業計画作成に係る協議の過程において、目標や方針についての理解を求め、まちづくり出前講座などを活用してまいります。③土地改良事業地域関係者との連携はもとより、地域の環境に密接なかわりを持つ活動団体等へも周知、啓発を行い、農村地域での環境配慮、保全に対する理解を求めてまいりたいと思います。

質問2 産地間競争に打ち勝ち、ブランド力向上のために、長年の懸案事項である有機センター

建設は緊急課題です。進捗状況と今後の対応について伺います。

答弁2 市ではバイオマスの利活用や有機性資源の循環利用の推進を、環境保全の基本計画の一つとして十日町市農村環境計画に盛り込み、具体的な取り組みとして建設を進めています。

現時点では公表できる状況ではありませんが、建設位置については、候補地を絞った中で交渉を進めており、今後の事業推進に当たり、関係市民の理解が得られるように本計画を有効に活用してまいりたいと考えています。

観光産業の活性化と
高規格道路について

川田一幸 議員

質問1 ①雪国観光圏の取り組みの実態と今後の取り組みについて、②観光事業の担い手である観光協会の育成、自立に対する支援と、③着地型観光に対する市の考えを伺います。

答弁1 ①雪を通じた国際観光の展開、雪国らしい観光産業づくり、滞在型観光推進と地域づくり、人づくり推進を目指しています。旅行業法の特例や認定

観光圏案内所設置などの支援事業、支援制度を効果的にPRし活用を図ってまいります。②平成22年度中の法人化のため、各種事業や運営費などへの財政支援や事業の連携による支援を行っています。法人化により第3種旅行業が可能となり、自主財源確保にもつながっていくものと期待しています。③観光協会と連携しながら、観光資源の発掘や磨き上げ、新たな観光ルートの開発、PR、旅行エージェンツなどへの営業活動などに積極的に取り組んでいかなければと考えています。

質問2 これからの観光交流人口を怒涛の人の流れにするには高速化が求められます。高規格道路の十日町インターの整備や全線を繋げるための手法とその考え方について伺います。

答弁2 平成20年度には上越魚沼地域振興快速道路十日町市管内整備促進行政連絡会議を立ち上げ、国、県3者で共通認識を持ちながら連携して整備促進を図ってまいりたいと考えています。今年度は部長制を導入し、企画調整機能を強化するとともに、特命ポストとして技監職を配置し、整備促進への取り組みを一層強化いたします。

新十日町病院建設場所の検討について

宮嶋 正一 議員

質問1 建設場所検討委員会の資料や説明内容が、十日町市総合計画、十日町インター周辺の土地利用計画、十日町地域中核病院構想などの計画内容と相違があることについて次のことを伺います。①小黒沢と現位置以外に仄聞の場所も含めての検討は何か。②4か所を同列にしての検討は非常に遺憾です。同意書も含め地権者に対する道義的責任は。③市政の基本計画を覆してまで現在地を検討候補地とした理由は何か。④同じ敷地内での病院改築事例はあるか。⑤4か所とも信濃川活断層に囲まれているが問題はないのか。

答弁1 ①要望書の提出や新聞報道された場所であり、検討委員会の中で総合的に評価、検討いただくことが公平面からも必要だと考えます。②短期間のうちにご同意いただいたことに対して、地権者の皆さんや振興会の役員の方々、地元議員各位のご苦労に、当時からかわった者として、心から感謝申し上げます。るところです。

③総合計画は、計画期間の中で国や県の動向や社会情勢の変化等を考慮しながら、毎年ローリングを行い、変化に対応しながら市政運営の指針としていくものです。④現在地改築の事例として、長岡市に当時の県立療養所悠久荘（400床）があります。また、都市部においても事例があると伺っています。⑤技術面からして、活断層のため場所を外すことにはならないと思われませんが、そうでない所と比べると、かかる経費が当然違ってくると思います。地盤の状況と費用対効果等を考慮の上決定されるものと思われます。



新十日町病院建設場所検討委員会

地域自治組織のあり方について

小林 弘樹 議員

質問1 地域自治組織のあるべき姿、役割とは。

答弁1 組織の基本は各集落や町内であり、地域のことを一番わかるのは地域の皆さんです。地域の総意で課題解決の方向や活性化の目標づくりを進めていただき、実践も地域の力を合わせて行つて完結していただくのが理想だと思っています。また様々な分野で活動する団体の皆さんの力を合わせ、地域の総力で取り組む必要があります。

質問2 理想とする地域自治組織になるために必要なものは何か。

答弁2 まずはリーダーの育成と、それを支える体制づくり、そして試行錯誤も含めての具体的な実践活動に尽きるのではないかと思います。これには地域内での切磋琢磨に加え、市としても支援を進めていく用意があります。方法としては、既存のものも含めて、地域協議会も含めた地域自治組織への新たな支援策を考えてまいりたいと思っています。

質問3 市職員の地域における評価、貢献度について、どのように認識しているか。

答弁3 ヒアリングなどを通しての把握はしておらず、総合的な評価は難しいと思います。

地域活動への参加が少ないとの声も耳にしており、地域活動に参画し、また積極的に声をかけ市民の皆さんとの信頼関係を築くよう促しています。全体を見渡すと、地域に溶け込んで、その一員としてしっかり根づいたり、リーダーとして力を発揮している職員もいます。今後信頼を得られる職員になるよう指導してまいります。

JR東との協定書 大地の芸術祭について

安保 寿隆 議員

質問1 ①5年間の試験放流による河川環境の検証は、JRのチェックだけでなく、市独自の検証、市民的検証をする考えはないか。②共生策について。市の要望書をはじめ地域や各団体の要望事項について、定例的な協議の場と公開が必要ではないか。③JRは昨年9月に、水力発電施設周辺地域交付金相当額

を10年間で5億円支払うと提起しています。どうなったのか。

答弁1 ①市役所本庁の入り口に、宮中での放流量の表示を開始しました。このような事をしっかりと積み上げていく中で、市民の皆さんから関心を持っていただき、色々なご意見を幅広くいただけるよう注力してまいりますのでご理解願います。

②特別委員会にしっかりと報告していますが、水面下ではなく何らかの組織をとのご意見があれば検討したいと思っています。

③一つにはその後の30億の基金に含まれると思っていたとしても良いかと思いますが、今後JRとの交渉は続くわけです。JRに対するやり方を色々な形で研究し、今後も色々な要望をさらに深めていきたいと思っています。

質問2 十日町市には、重要文化財の神宮寺や国宝火焔型土器など地域の宝が沢山ありますが、大地の芸術祭に組み込み、広く観光誘客できないか。

答弁2 縄文であるとか、地域の良さをいかに引き出すか、そのための材料が現代アートであると認識しています。地域との草の根の協働を進める観点から、芸術祭における各地域での交流

活動も市の活性化につなげてまいると考えています。

市農業振興・地域協議会と支所機能

村山 邦一 議員

質問1 国の農業政策は市農業の振興にとって最大の課題。戸別所得補償モデル事業は、米1俵当たり13,703円の補償水準となっており、生産費16,497円より低く、これでは後継者が育ちません。また転作しても交付金が下げられており、これでは農業再生は困難だと思っています。モデル対策事業と水田利活用事業への加入状況及び市の支援策、確認作業について伺います。

答弁1 モデル対策事業への加入状況は、全体総数約6,400人に対し89.4%が見込まれます。転作作物支援は、大豆、ソバの集団転作を支援し、販売支援策として、地産池消の推進を考えています。耕作放棄地は、再生にかかる経費に対し、国の交付金のはかに、市が協議会に助成金を支出しています。

確認作業は、農産物共済引き受け面積等の情報や現地の確認

をやってまいりたいと思います。



松之山支所窓口

質問2 ①各地域協議会や各振興会は、協働のまちづくりにどのように位置づけられているのか。②各支所機能の充実について伺います。

答弁2 ①地域協議会は市の付属機関として、地域内の市の事務に意見を述べることで、地区振興会は、地域振興のための独自の予算を持ち、地域内の様々な課題を自ら解決していくことが可能です。ともに地域自治の主体として重要な役割を担っていたいただいています。②今後市民に密着したサービスを提供し、地域振興に関する業務を行うこととし、本庁との連携を強化しながら、効率的な機能分担ができるように検討してまいりたいと考えています。

市税滞納者の対応について

尾身 隆一 議員

質問1 収入の落ち込みと各種控除の廃止、住民税の一律10%課税が多く滞納者を生み出しました。①市税等の滞納者の税別人数と滞納額、滞納に至った理由と、②どのような納付相談を行ってきたのか伺います。

答弁1 ①市県民税は1,104人で1億6,837万円、固定資産税は695人で2億4,805万円、軽自動車税は397人で473万円、国保税は1,058人で1億8,802万円。

多くは不況による所得の減少や病気等を契機としての滞納が始まりだと思われます。

②状況を十分伺った上で、一括納付が困難と認められる場合に限り、分割納付による徴収猶予を行っています。

質問2 新潟県の徴収機構は任意組織であり、差し押さえなどの徴収権限はないのになぜ脅迫的な取り立てを行うのか。

答弁2 滞納処分は、法令で該当市町村の徴税吏員が行うことになっており、徴収機構で扱う事案についても、当該事案の市

町村の徴税吏員が行う取り扱いになっています。

質問3 生活を成り立たなくする差し押さえや、生存権を否定するような人権侵害が行われてきました。直ちに納税緩和措置などの是正を図るべきではないか。

答弁3 徴収猶予、執行停止などの納税緩和措置は法に定まったものであり、税の公平性から当然厳格な取扱いが求められています。しっかりと調査し、真に生活を著しく窮迫させるおそれがあるかないか客観的に判断していくことが望まれていると理解しています。

子宮頸がんワクチン無料化と学校整備

宮沢 幸子 議員

質問1 若い女性に急増している子宮頸がんは、ワクチン接種と定期検診で防ぐことができるため「予防出来る唯一のがん」と言われています。将来の医療費抑制と命を守る取り組みとして、ワクチン接種を無料化にできないか伺います。

答弁1 まずは予防接種法に位置づけられ、接種対象者や料金

等が明らかにすることや、予防接種における事故に対する国の補償など、市民が安心して接種を受ける条件整備が重要だと考えています。国の動向を注視しながら、先進的な取り組み事例を十分検証しまして、地元医師会や学校関係者の皆さんとも協議したいと思います。

質問2 学校施設整備で勘案すべきは、教育目標や特色ある活動、環境配慮などとともに、地域や家庭との連携が重要となります。関係者と十分協議の上、実情に応じた柔軟な発想が不可欠です。整備計画と現状、整備に当たっての考え方を伺います。

答弁2 耐震化計画に基づいて整備を進めており、平成20年度では、校舎1校、屋内体育館3校、21年度は校舎1校、屋内体育館6校を完了し、今年度は校舎3校、屋内体育館4校を計画しており、27年度ころまでにはすべての学校を完了するよう努めています。

改築に当たっては、文部科学省が示す補助基準の中で、教職員、保護者、地域住民の皆さんの協力をいただきながら、よりよい教育活動や環境に配慮した写真を作り上げ、教育効果や学習環境を高める条件整備、さ

らには学校を地域資源ととらえ、地域に開かれた学校づくりが大切だと考えています。



十日町中学校屋内体育館の解体

大地の芸術祭と市職員の採用を伺う

藤巻 誠議員

質問1 大地の芸術祭開催に当たり、①芸術祭の運営主体（行政、NPO、サポーターなど）に意識と行動のズレが生じているのではないかと。②市街地の活性化策としてキナーレの再構築にどう取り組むのか。③JR東日本とタイアップした飯山線アートプロジェクト事業は。④個

人情報保護と作品制作費の公表の考え方は。

答弁1 ①問題があるとすれば、今後開催する検討会において、今後のあり方等も議論いただき、意識、役割分担、課題点等の共有を図り芸術文化による地域づくりの将来像を確かなものにしていただきたいと思います。

②大地の芸術祭のエッセンスをさらに注入し、通年的に芸術祭が体感できる施設に改善するため、具体的な計画等について検討中です。③各駅周辺に作品の制作、展示を行うなど、文化、芸術に親しめる鉄道路線としてのイメージを高め、観光誘客を図っていくことができますのではないかと考えています。④第5回においても作品を特定しない方法で全ての作品の制作費を公開すべきだと考えています。

質問2 市役所の活性化のために、①23年度職員の新採用を行うべきではないかと。②地域に根ざした職員をどう養成するのか。**答弁2** ①人口や産業構造が類似した他市に比べ職員数が多い状況にあるため、適正化に取り組んでいるところです。②新市の一体感の醸成、広い観点から見る能力を培うためにも旧市町村を超えた人事交流は重要なこ

ととを考えています。市民目線でまちづくりを行う意識と能力の向上に努めてまいります。

介護マンパワーの充足に行政の支援を

小野嶋哲雄 議員

質問1 ①高齢者福祉の充実は、施設の充実に合わせ、訪問介護員、看護師の充足が不可欠です。要介護者の意向は、7割の方が在宅を希望しています。慢性的な介護関係職の不足解消と在宅介護の充実のために、介護、看護職の養成に行政の積極的な支援を求めます。②第5期介護保険策定においては、地域の要求に沿った施設整備と在宅の選択ができる制度を求めます。

答弁1 ①訪問介護員の資格取得に係る養成研修に、職員を研修講師として派遣しています。今後は、研修等に係る費用等の一部を支援または助成できないかなど予算面からも考慮しなければと思っています。②利用者が希望し、選択できるサービスに応えられる体制に至るには、解決すべき事案が多くあると思っています。居宅介護サービス事業や地域包括支援センターの

より効果的な活用を構築し、しっかりとした計画にしていきたいと思います。

質問2 ①市長の目指す市役所改革及び支所機能と市民サービスとは。②不安を招く支所の対応改善と市民と職員の信頼関係構築を求めます。

答弁2 ①現在ますます厳しくなっている地域間競争を勝ち抜くために、行政改革大綱と重点改革プランに基づき、行政の事務効率化の向上を図る必要があると考えています。支所については、対市民重視の機能分担を進めるとともに、連携の強化を行い、見直しを進めてまいります。②基本的な対応のための接遇マニュアルを活用し対応の徹底を図ってまいります。また本庁、支所の関係部署での情報共有にも努めています。

歴史遺産を活かしたまちづくり人づくり

吉村重敏 議員

質問1 欧米が古代芸術の傑作という火焰型土器にふさわしい国宝館を建設すべき時期だが、市長の判断と決断を伺います。**答弁1** 優先課題解決の見通し

が立てば、棚上げを解除し、地域の皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。

質問2 前期基本計画から国宝館構想が除外された理由は何か。

答弁2 財源並びにアクセスの問題、また現在国宝を所持、展示している博物館との整合性等の課題があり、具体的な形にできないという実情です。

質問3 後期基本計画策定委員に民間人を選任すべきではないか。

答弁3 当委員会は、市役所内での計画素案を作る役割です。その素案を外部組織から議論、検討いただきます。

質問4 小中学校の食育運動に漢方の医食同源を理解させる食材料能教育と煎じ薬実演を提案します。

答弁4 本質は食育と相通じるところがあります。教育課程上、時数確保等の課題がありますが、学校との協議の上で実践していくことは可能と考えています。

質問5 県内各地の北条時頼伝説、遺品伝説をまちづくりに提案します。

答弁5 伝説という範囲の中でご活用いただければと思っています。

質問6 十日町市史の調査研究

発表は継続しているか。今後の方針を伺います。

答弁6 市史編さん事業は完了しましたが、その後発見された資料や新しい学説に基づき補完作業は現在も続けており、今後必要と考えています。

国保税の引き上げは負担大、改善を求む

鈴木和雄 議員

質問1 国保税の改定により、所得や資産の無い世帯、子育て世帯への負担は大きい。これが払える保険税といえるのか。

答弁1 年々増える医療費の支払いに対し多額な財源不足が生じており、一般会計からの繰り入れとともに、国保税の値上げをお願いしました。また、医療機関への受診状況が国保税に反映されるので、各種保健事業での健康管理、疾病予防対策を積極的に取り組み、医療費の適正化に努めてまいります。

質問2 国保法には、保険税を減免する事や保険証を取り上げられない規定があります。内容の分かり易い周知の徹底に努めていただきたい。

答弁2 減免制度については、



国保係に備えてあるパンフレット等に綿密な内容を書き載せたいと思っていますし、資格者証を交付しない特別な事情についても周知を図っていきます。

質問3 資格証の交付により収納率が上がっている状況にありません。市民の健康を第一に資格証の交付は止めるべきです。

答弁3 払えるのに払わない方は問題外として、本当にご自由な方、病気や災害などで急にそういった状況に陥った皆さんに関しては、慎重に取り扱っていかねければと思います。

質問4 税の滞納世帯へは、二重三重のペナルティーがある。こうした実態の改善に努めていただきたい。

答弁4 しっかりと実態把握等を行い、減免規定等もお示しする中で、特に急激に状況が変わった皆さんに関しては、できるだけ慎重に取り扱ってまいりたいと思っています。

移籍した6次産業振興係に対する期待

小嶋 武夫 議員

質問1 市内の廃校舎は9校、荒廃地は何と1,370ヘクタールに及んでいます。荒廃地に桑を植え、廃校舎に蚕を飼育し、高価なブランド着物で織物業の復活ができないか。当時の技術を持っている先輩方の記憶が生きているのが最後のチャンスだと思います。



答弁1 まずは織物業者に地元産の絹糸を使用した生産のニーズがあるかどうかを調べる必要があると思います。また、蚕

の繭から製糸、そして織物へと展開出来る業者の実態把握、さらに桑を栽培して養蚕に取り組める農業者等の見込み、生産量の見込みという課題もありますし、製品化した場合の価格設定などもポイントになるかと思っています。いずれにしてもそういったものをしっかりと把握した中で、総合的に勘案しながら前向きに検討してまいりたいと思います。

質問2 山菜も含んだ雪国ならではの農産物のうまさは、他地域では真似のできない自然の恵みだと考える。学術的に証明することへの投資は、農家には負担が重すぎるため行政に願いたい。これは農産物のブランドが確立することになると思いいます。

答弁2 雪の力というものは、食品などに随分好影響を与えるのと伺っています。そのことが繭だとか、山菜、米にどういう影響を与えるかわかりませんが、我々のブランドである雪を活かした商品開発ということは当然考えられ、しかもかなり有望なブランドだと思います。しっかりとそういったことに着目しながら、新商品開発等に当たってまいりたいと思います。

◆妻有クラブ

当会派は、まちづくり及び行政改革を重点的取り組み項目に掲げスタートしました。

昨年、長野県飯田市と和歌山県高野町の先駆的な取り組みを視察してまいりました。飯田市は中心市街地活性化事業・環境都市宣言など、全国に先駆けて取り組んだことで知られています。また、平成14年には「自治基本条例」の制定に着手し、5年後の平成18年に議会議案として提出、制定したことで知られています。この制定までの過程で、超党派による「議会あり方研究会」の立ち上げや、市民を含めた「市民会議」の設置など、その斬新な手法と目線が全国の注目の的となっています。

次に訪れた高野町は、飯田市の産業経済部長を務め、定年退職後に高野町に迎えられた経歴の持ち主の高橋寛治氏



高野町役場前にて

が副市長を務められており、現在には人事権、政策決定権、予算権等の実権を託され、5年間職員採用ゼロ、予算20%削減などを実行されたそうです。

その手腕と街づくりに対する情熱に、我々会派一同、大変感動しました。論より証拠ではありませんが、是非、高橋寛治氏をお招きし、多くの方からお話を聞いていただく機会を作りたいと思っています。

当「妻有クラブ」では8月19日から開催される全国自治体学会佐賀武雄大会の「地域力が未来を拓く」をテーマとしたシンポジウムに参加し、これからのまちづくりに役立てるよう計画を進めています。

議会日誌 4月・6月

〔4月〕

- 16日・十日町・松代病院問題特別委員会
- 19日・厚生環境常任委員会視察
- 27日・信濃川・清津川対策特別委員会
- 30日・総務文教常任委員会視察

〔5月〕

- 11日・産業建設常任委員会視察
- 17日・議会運営委員会
- 20日・観光推進特別委員会視察
- 21日・第3回臨時会
- ・全員協議会
- ・産業建設常任委員会

〔6月〕

- 4日・議会運営委員会
- 11日・平成22年第2回定例会
- 11日・本会議（諸般の報告・議案審議）
- ・十日町・松代病院問題特別委員会
- ・総務文教常任委員会
- 14日・16日
- ・本会議（一般質問）

永年勤続表彰

去る4月22日に開催された第85回北信越市議会議長会定期総会、及び5月26日に開催された第86回全国市議会議長会定期総会において、川田一幸議員・涌井充議員・太田祐子議員が永年勤続表彰（10年以上）を受けました。



川田議員、太田議員、涌井議員

議会傍聴者

6月11日から6月18日までの定例会期間中に、延べ人数で120人の方が傍聴に会場されました。（傍聴者名簿記載分）
また、15日には、十日町中学校の3年生85人が議会の傍聴に來れました。

議会の傍聴においでください

- 次の議会（9月定例会）は、9月上旬に開会予定です。詳しい日程は議会事務局に照会してください。（☎025-757-3119・市のホームページにも掲載します。）
- 議場は市役所3階です。入口で住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

お気軽にお出かけください。



一般会計補正予算と主な事業

5月臨時会

〈平成21年度 補正第10号〉

3月30日に専決処分した補正予算ですが、特別地方交付税の3月交付を受けて、その交付金を財源に基金積み立ての実施を行いました。

また、簡易水道事業特別会計への繰り出しに関連した継続費の補正も行いました。

○減債基金積立金（財政課）

この積み立ては、将来の公債費負担の軽減を図るために行いました。

〈平成22年度 補正第1号〉

4月1日に専決処分した補正予算ですが、昨年度から取り組んでいる離職を余儀なくされた失業者対策事業の新年度分が県から内示されたことを受けて事業化しました。

○雇用対策事業（産業振興課）

市ではこの事業により、福祉・

介護施設の人材不足解消支援などに36名の雇用を計画しています。

6月定例会

〈補正第2号〉

この補正予算では、地域経済活性化対策を市の単独事業として2つ計上しました。

「プレミアム商品券発行事業」と「住宅リフォーム助成事業」で、総額4,970万円の支援予算となります。

また、第5回の大地の芸術祭開催に向けて、その運営予算を継続費とともに計上しました。

○予防接種事業（健康支援課）

厚生労働省の積極的勧奨の再開により、日本脳炎の予防接種を、3歳児を中心にして取り組みます。

○じん芥処理施設の基本計画委託事業（環境衛生課）

施設の更新期を迎えている

「ごみ焼却施設」を、当分の間、現状維持を図る目的等のため、施設の「長寿命化計画」などの策定を行います。



エコクリーンセンター

○県単農業農村整備事業（農林課）

川治地区下原田において県単の圃場整備事業（10ヘクタール）を始めます。

○産業観光企画事業（産業観光企画課）

現在、中国上海で開催されている上海国際博覧会での誘客宣伝経費を計上しました。

これは、10月に日本館で新潟フェアが開催されることに合わせて、当市もアジア圏域からの誘客等に積極参画するための予算です。

怒涛の人の流れ確保の施策として、雪まつりや芸術祭、また、地域物産などを用いて誘客宣伝を行う計画です。

○中小小売業等振興事業（産業振興課）

プレミアム商品券発行事業を支援します。

8月から実施し、事業主体からは集客アイデアなどを求めながら取り組みます。

○大地の芸術祭運営事業（観光交流課）

第5回目の開催に向け、3年間の継続事業初年度の予算を計上しました。

○道路整備事業

・十日町地域（建設課）

広域農道整備の一環として、大石・南雲間の測量調査を行います。

○建設機械車庫解体事業

（松之山支所農林建設課）

三省工業団地内の除雪機械格納庫の老朽化と、同工業団地の活用を図るために取り組みます。

○川西地域消雪パイプ整備事業（川西支所農林建設課）

国からの交付金増額内示を受け、機能低下している消雪パイプの改修を行います。

○河川環境整備事業

（信濃川・清津川対策室）

JR東日本信濃川発電所が同社宮中取水ダムからの放流量表示装置を役所本庁舎内に設置するに当たり、その表示装置に、市の河川監視モニター映像を併設し、より分かりやすい流量表示とするなどの経費を計上しました。



本庁舎内流量表示（6月21日）

5月臨時会議決結果

市長提出議案	
件 名	議決結果
専決処分の承認（平成21年度十日町市一般会計補正予算〔第10号〕）	承 認
専決処分の承認（十日町市税条例の一部を改正する条例）	承 認
専決処分の承認（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承 認
専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承 認
専決処分の承認（平成22年度十日町市一般会計補正予算〔第1号〕）	承 認
固定資産評価員の選任（ ムラヤマ ショウジ 村山 正二氏）	同 意

物品購入契約の締結（F M告知受信機）	原案可決
工事請負契約の締結（川治小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事（建築本体））	原案可決
工事請負契約の締結（千手小学校校舎耐震補強及び大規模改修工事（建築本体））	原案可決
工事請負契約の締結（千手小学校管理・特別教室棟改築工事（建築本体）工事）	原案可決
工事請負契約の締結（十日町中学校屋内体育館改築工事（建築本体）工事）	原案可決
議会提出議案	
議員派遣	原案可決

6月定例会議決結果

市長提出議案	
件 名	議決結果
物品購入契約の締結（自動交付機システム）	原案可決
十日町市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市宮下原田地区土地改良事業の施行 シモハラダ	原案可決
十日町市総合福祉センター条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市道の廃止（高田町3丁目西丸山町線・駅西9号線）	原案可決
市道の認定（高田町3丁目西丸山町線）	原案可決
十日町市公園条例の一部を改正する条例制定	原案可決
十日町市住民基本台帳カードの利用に関する条例制定	原案可決
平成22年度十日町市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
平成22年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成22年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	原案可決

平成22年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成22年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成22年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成22年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
平成22年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
工事請負契約の変更（千手小学校管理・特別教室棟改築工事（建築本体）工事）	原案可決
議会提出議案	
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の拡充を初めとする教育予算の充実を求める意見書	原案可決
B型・C型のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書	原案可決
議員派遣	原案可決
請 願	
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度の拡充をはじめとする教育予算の充実を求める請願	採 択
備蓄米買入れと米価の回復・安定を求める請願	不 採 択
350万人のウイルス性肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願	採 択

常任委員会

TOKAMACHI

審査結果

6月定例会に提出された議案のうち、それぞれの常任委員会に付託され審査した議案と、その結果は次のとおりです。

産業建設常任委員会

◆十日町市宮下原田地区土地改良事業の施行

◆十日町市総合福祉センター条例の一部改正

◆市道の廃止

◆市道の認定

◆十日町市公園条例の一部改正

いずれも原案どおり可決しました。

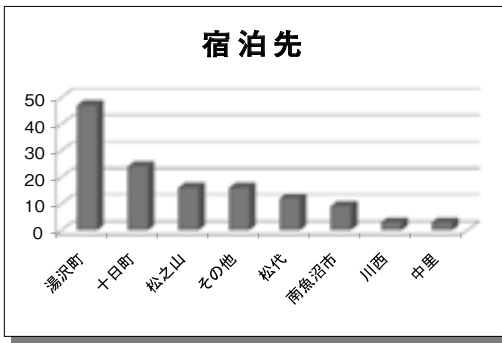
厚生環境常任委員会

◆十日町市住民基本台帳カードの利用に関する条例制定

原案どおり可決しました。

新潟DC及び 雪国観光圏を視察

観光推進特別委員会では、去る5月20日、昨年度の新潟DC（デステイネーションキャンペーン）の取り組み結果、分析報告について観光交流課から説明を受けました。一度十日町市に観光に来ていただき、都会には無い里山風景の美しさ、この土地で採れた食の美味さ、そして人々の温かいもてなしを知ってもらうことが大事であり、訪問の回数が多いほど宿泊日数が増える傾向にあるということです。



続いて雪国観光圏の整備状況について、湯沢町に置かれた事務局から説明を受けました。

滞在型のツアーを企画し、1泊目は湯沢、2泊目は十日町で売りたい。2014年問題を考えており、この問題は湯沢町にとっても大変な課題であることと聞かせていただきました。委員から、十日町市と湯沢町は、ともすれば商売敵の間柄であったが、雪国観光圏として湯沢を窓口とすれば、首都圏から1時間というエリアとして売り出せるチャンスである。また行政任せでなく民間の積極的な取り組みが分かって良かったなどの意見が出されました。

2014年問題 研修会開催

当市議会では、6月29日、六日町の北越急行本社で「北越急行の現状と2014年問題に関する議員研修会」を開催し、涌井議長を初め19人が参加しました。



北越急行の磯部会長による歓迎挨拶のあと、大熊社長から、経営の見通しや今後の課題、JRとの相互乗り入れ契約の自身などについてお話をいただきました。

具体的には、全国にある約40の第三セクターや並行在来線のほとんどが赤字路線であり、黒字路線は4路線しかなく、その中で、ほくほく線はダントツの黒字路線であること。



北越急行本社指令所の視察

しかし、北陸新幹線が開業すると、34億円の運輸収入が3億円に激減し、支出を1/3に切り詰めても、年間数億円の赤字になる厳しい見通しであること。その中で地域に根ざした鉄道として、最大限の努力を尽くすとの決意を語りました。

議員からは「百億円以上と見込まれる内部留保の活用について」「首都圏からの誘客対策について」「北陸新幹線上越駅への乗り入れについて」「十日町駅の拠点対策について」などの質疑があり、2014年問題を考える有意義な研修会となりました。

あとかき

6月議会において、自動交付機システム購入事業、住民基本台帳カードの利用に関する条例制定などが審議、議決されました。

補正予算では、緊急経済対策の一環として、住宅リフォーム補助金、プレミアム商品券発行事業補助金などが可決されました。7月からは「地域子育て応援カード事業」もスタートします。地域経済の活性化になることを期待しています。

市では平成22年度から24年度までに、職員数を500人とする計画です。職員数は平成21年度679人、平成22年度642人です。本年度の職員採用は保健師1人でした。支所の職員数の減少による権限機能や公共サービスの低下、中心と周辺地域の格差が目立つようにならないか懸念する声も聞かれています。

合併して5年が経過しましたが、財政基盤の強化が一番の目的で始まった平成の大合併もこの3月31日で終了しました。合併後10年間は有利な条件で合併特例債を受けることが出来ますが、残り5年、合併してよかったと誰もが思える十日町市になることを願っています。

(羽鳥輝子)